



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整えながら、健康に過ごせるようにする。 戸外遊びを楽しみ、身体を十分に動かす。 保育者や友だちとの簡単な言葉のやりとりで、思いが伝わる事の心地よさを感じる。 	行事	プール開い 避難訓練 長時間保育	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 夏の疲れの出やすい時期なので、体調に留意し、甘えたい気持ちを受け止めながらゆったり過ごす。 朝の視診で睡眠や健康状態について、保護者と話をして子どもの様子をしっかりと把握しておく。 水遊び、泥んこ遊び、散歩と遊びが多様化するため衣服や靴の用意をお願いする。 	自己評価 天候や気温により子ども達の様子を見ながら戸外遊びや室内遊びを柔軟に切り替えて活動することが出来た。子ども達たちも保育士の仲立ちや援助を受けながらもお互いにやり取りをする姿が多く見られるようになり成長を感じる事が出来た。また、新しい遊びを取り入れたが、子どもたちも楽しんで行う姿が見られた。
今月の内容(養護・教育)		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> 夏の疲れの出る時期なので、子どもの状態を把握して無理なく快適に過ごせるようにする。 引き続きこまめに水分補給をして十分に休息が取れるようにする。 園庭や散歩に出かけ、歩く、走る、くぐる、台に乗る、ジャンプするなど身体を動かして楽しむ。 保育者や友だちとじっくり関わりながら言葉や声を発することを楽しみ、また、嫌な思いも手を出さずに言葉で伝えていく。 なぐり書きやシール遊びなど制作を通して指先を使って遊ぶ楽しさを味わう。 食材に興味を持ち食べることを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子ども健康状態や天候に合わせて水に触れたり、散歩、室内遊びなど臨機応変に活動内容を設定をしていく。 気温の高い日は水分を多めに用意する。 事前の安全点検を行い、保育者が遊具や段差の側に分散して付く。 ごっこ遊びや自由遊びで言葉のやり取り広がるように玩具の整理や配置しておく。 事前にシートや教材を用意し、テーブルの配置などに配慮してゆったりと行えるようにする。 食材や食事を楽しむ絵本を読んだり手遊びをしたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子によってグループ分けをして、それぞれの遊びをゆったりと楽しめるようにする。 危険の無いよう保育者の配置を考慮し、一人一人の発達に合わせてのびのびと身体を動かせるように援助していく。 友だちとのやり取りは見守り、時には言葉を添えたり、仲立ちをして楽しい雰囲気の中で言葉の発達を育んでいく。 わかりやすく言葉掛けをしながら、保育者が行う様子を見せてイメージを持てるようにする。 子どもが無理せず進んで食べられるように声をかけ見守る。 		朝晩の気温が急激に下がり、鼻水や咳、発熱する児が多かったものの、体調の変化に留意し、こまめに体温を計ったり保護者との日々の様子を細かく伝え合う事で早目の受診を促す事が出来たり子どもの体調により室内でゆったり過ごしたりして悪化せず長引く児もいなかった。子ども同士での関わりも増えて援助する場面もあるが必要以上の介入をせずに見守るようした。進んで食事を食べられている時には大いに褒めて自信に繋がりが嬉しそうに食べる姿をみせてくれた。引き続き一人一人の様子、気持ちに寄り添い配慮していく。